

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2005-205770 (P2005-205770A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-030
 【出願番号】特願 2004-15523 (P2004-15523)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 23 日 (2007.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の記録素子と前記複数の記録素子を駆動する複数のドライバと前記複数のドライバを制御するための制御回路とが 1 つのブロックとして構成され、前記ブロックが複数個配置されて構成される記録ヘッド基板であって、

前記複数のブロックの内の 1 つのブロックに対して信号を入力する入力端子と、

前記 1 つのブロックに前記入力端子により入力される信号を隣接する別のブロックに転送する信号配線と、

前記信号配線上に設けられ、前記 1 つのブロックから前記別のブロックに転送される信号波形を整形するバッファとを有することを特徴とする記録ヘッド基板。

【請求項 2】

前記入力端子と前記 1 つのブロックとの間の信号配線上に設けられる中継バッファをさらに有することを特徴とする請求項 1 に記載の記録ヘッド基板。

【請求項 3】

前記ドライバは、パワートランジスタを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の記録ヘッド基板。

【請求項 4】

前記制御回路は、デコーダとシフトレジスタと A N D 回路とを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の記録ヘッド基板。

【請求項 5】

前記入力端子は複数個備えられ、

前記複数の入力端子により、記録データ信号、前記記録データ信号を入力するためのクロック信号、前記記録データ信号をラッチするためのラッチ信号、及び前記ドライバを駆動するためのヒートイネーブル信号が入力されることを特徴とする請求項 1 に記載の記録ヘッド基板。

【請求項 6】

前記信号配線は、前記 1 つのブロックのシフトレジスタを介して次のブロックのシフトレジスタにデータ信号を供給する配線であることを特徴とする請求項 1 に記載の記録ヘッド基板。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の記録ヘッド基板を用いる記録ヘッド。

【請求項 8】

前記記録ヘッドは、熱エネルギーを発生する前記記録素子を用いてインクを吐出して記録を行うインクジェット記録ヘッドであることを特徴とする請求項 7 に記載の記録ヘッド。

【請求項 9】

請求項 7 又は 8 のいずれかに記載の記録ヘッドを用いて記録を行う記録装置。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の記録ヘッドと、該記録ヘッドに供給されるインクを保持したインクタンクとを有するヘッドカートリッジ。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のヘッドカートリッジの前記インクタンクに対してインクを充填するインク充填方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

即ち、複数の記録素子と前記複数の記録素子を駆動する複数のドライバと前記複数のドライバを制御するための制御回路とが 1 つのブロックとして構成され、前記ブロックが複数個配置されて構成される記録ヘッド基板であって、前記複数個のブロックの内の 1 つのブロックに対して信号を入力する入力端子と、前記 1 つのブロックに前記入力端子により入力される信号を隣接する別のブロックに転送する信号配線と、前記信号配線上に設けられ、前記 1 つのブロックから前記別のブロックに転送される信号波形を整形するバッファとを有することを特徴とする記録ヘッド基板を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

さて、前記ドライバはパワートランジスタを含み、前記制御回路は、デコーダとシフトレジスタと AND 回路とを含むものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

また、前記入力端子は複数個備えられ、これら複数個の入力端子により、記録データ信号、前記記録データ信号を入力するためのクロック信号、前記記録データ信号をラッチするためのラッチ信号、及び前記ドライバを駆動するためのヒートイネーブル信号が入力される。